



小さな目標を積み重ね～校長先生朝礼講話より～

入学式・始業式の時に、教育目標は「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで実践力のある生徒の育成をめざす」という話をしました。これを受け、生徒会の目標、学年の目標、学級の目標など、いろいろな目標が立てられています。皆さん、それぞれも自分の目標や夢があると思います。

ところで、大リーグのイチロー選手が、なぜ大きな記録を達成できたのか。イチロー選手の目標の立て方について話を聞いたことがあります。イチロー選手は、大きな目標の前に、まず、自分のできそうな小さな目標をたて、それができたら、次の目標をたて、できたら次の目標を立て、という具合に、次々と目標を立て、それに向けて取り組み、達成していく事を繰り返し、結果として大きな目標に達成したそうです。皆さんも、大きな夢に向け、今の自分の何が必要かを考え、小さな目標を立て、次々達成していく、そんな1年にしてほしいと思います。

また、そのためのベースとして心と体の健康を大切にしてほしいと思います。あつてはならないことですが、中学生の自殺をニュースで聞いた時には、何とか、思いとどまれるような事にならなかったのかと、心が痛みます。テレビで、さんまさんが言っていたことですが、「生きてるだけで丸もうけ」という意味で自分の娘さんに「いまる」という名前をつけたそうです。命を大切に、まずは、心と体の健康、そのベースの上で目標達成を目指しましょう。

1年生の皆さん、がんばっていきましょう～3年学年代表の話より～

1年生の皆さん入学おめでとうございます。1週間がたち、どうですか。弥北の生活には慣れてきましたか。まだまだ分からないことがあるかと思いますが大丈夫です。僕たちも2年前はそうでした。

毎日が挑戦、そして成長の日々になると思います。さて、成長すると言っても決して簡単なことではありません。成長の仕方にはいろいろな方法があると思います。そこで、成長につながる1地番簡単な方法と1番難しい方法を紹介したいと思います。

まず、1地番簡単な方法は自分から行動することです。周りを見て、学び、自分で考え、行動することで成長の切っ掛けを作ることができます。すごく単純で簡単な方法ですが、これができないという人もいないのでしょうか。なぜ、行動できないのか。それには、いろいろな原因が考えられますが、1番多いのが行動に移す勇気をもつことができないことだと思います。学級委員になりたいけど、立候補する勇気がもてない。発言したいけど、手をあげる勇気がもてない。そう思ったことはありませんか。そこで、勇気をもって行動に移すことで大きく成長できた人を紹介したいと思います。樺坂46の平手ユリナさんを知っていますか。彼女は樺坂46のセンターとして活躍されていますが、もともと小中学校時代は内気でクラスメートとの話の輪に入るのが苦手だったそうです。ですが、このままではダメだと思い樺坂46のオーディションに挑戦したそうです。その結果、今や樺坂46の顔と言えるほどに成長しています。

このように行動に移すことで、大きな成長のきっかけを作ることができます。きっかけをつくったら、後は成長するために努力をするだけです。そして、これが1番難しい方法です。「努力は必ず報われる。もし報われていないのであれば、それはまだ努力といえない。」というような言葉があるほどです。しかし、「成功したものは、皆、努力をしている。」という言葉もあります。つまり、簡単に言うと、努力すると成長できるということです。

もし、成長しようとしていても1人では何もできなくなったら、誰かに頼ってみてください。友達、先輩、家族、誰でも構いません。そして、一番頼りやすいのが学校の先生です。いろいろな先生が、いろいろな経験や考え方をもっています。弥北の先生のよいところは、どんな些細な相談でも真剣に考えてくれるところです。

人が成長することは、大変なことで、とてつもなく時間がかかります。ですが、成長しようと思うことに遅いということはありません。成長するために、1日1日を大切に、成長することができたと思えるように、がんばっていきましょう。

誰もが楽しいと思う学校を～生徒会長の話より～

1年生の皆さんは、1週間たった今、だいぶ慣れてきた人が多いと思います。ランチルームでの給食、自問清掃など、新しい発見、驚きがたくさんあったのではないのでしょうか。

2年生は先輩として1年生のサポートができるように、3年生は最上級生として1、2年生の土台になるような存在を目指していきましょう。生徒会では、現在、弥北スローガンについて話し合っています。これから、いろいろなボランティア活動や企画を提案していく予定です。誰もが楽しいと思う学校をつくるために生徒会一同がんばっていきます。半年間、生徒会活動にご協力お願いします。